

基本方向A「文化創造の基盤づくり」

①「芸術文化を創造する人材、支える人材の育成・支援の充実」

事業名	実績・評価
<p>芸術活動振興事業 助成金</p>	<p>(事業実績など) ・H29年度実施分(年間) 申請件数215件 採択件数：特別助成22件・一般助成121件 ・H30年度実施分(上期) 申請件数105件</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 申請件数が増えており、事業(助成金)の認知度が高まっていることが伺える。 最も大きな成果は、これまでの実績や施策の方向性を踏まえたスキーム変更(助成枠や審査基準の見直しなど)を行ったことである。引き続き、効果的な制度運用に努めてほしい。</p>
<p>芸術文化魅力育成 プロジェクト</p>	<p>(事業実績など) ・プロデューサー育成人数：12人 ・鑑賞プログラム：府内5エリアにおいて作品制作・展示・ライブパフォーマンスなど約8プログラム ・育成プログラム：セミナー・トーク等 全5回 ・鑑賞者等(合計)：約20,200人</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 若手プロデューサーが自らの企画や考えを言語化する場面、メディアが多くつくられたことは、人材育成面で大事なプロセスであった。しかし、人材育成や大阪各地の地域性をいかした文化創造という目標を達成するには3年間では短く、また、単年度の数か月間で実施するのは事業者側にとってかなり困難である。複数団体が継続して事業に取り組んでもらう方法を検討していくことが、よりよい人材育成につながるはずである。</p>
<p>咲くやこの花賞 受賞者等支援事業 咲くやこの花賞</p>	<p>(咲くやこの花賞受賞者等支援事業実績など) ・「咲くやこの花コレクション」はじめての義太夫ワークショップ(H29.8.26～11.11 SPACE9)ほか5プログラム</p> <p>(咲くやこの花賞実績など) ・贈呈式：H30.2.28 大阪国際交流センター ・受賞者：(美術部門：写真)佐伯慎亮 (音楽部門・パイプオルガン)富田一樹 (演劇・舞踊部門：歌舞伎)晴の会 (大衆芸能：落語)桂雀太 (文芸その他部門：脚本)向井康介</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 若手アーティストに贈る賞として歴史を持ち、初期の受賞者は各分野で中心的存在になっている。今後も受賞者の発展に寄与すべく、意義のある良い人を選出していくことが肝要である。</p>
<p>大阪文化賞 大阪文化祭賞</p>	<p>(大阪文化賞実績など) ・受賞者：井上 道義氏(指揮者) ・授賞式：H30.2.8 大阪シティプラザ</p> <p>(大阪文化祭賞実績など) ・受賞者 【第1部門】TTR能プロジェクト：TTR能プロジェクト15周年特別公演「定家」の成果 【第2部門】七代目笑福亭松高：「三喬改メ 七代目笑福亭松高襲名披露公演」の舞台成果 【第3部門】井上道義指揮：大阪フィルハーモニー交響楽団第505回定期演奏会における演奏 バーンスタイン「ミサ」の舞台成果</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 新たな審査員による審査(大阪文化賞)や選考対象の変更(大阪文化祭賞)など事業の見直しをし、受賞者の幅が広がっている。</p>
<p>三好達治賞</p>	<p>(事業実績など) ・贈呈式：H30.3.23 大阪市中央公会堂 ・受賞者：黒岩 隆 ・選考対象作品数：175作品(応募件数107作品)</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 詩の文化を市民に広げる機会として活用してほしい。</p>

<p>織田作之助賞</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・贈呈式 H30.3.5 綿業会館 ・受賞者及び受賞作品 織田作之助賞：古谷田 奈月「リリース」・東山 彰良「僕が殺した人と僕を殺した人」 織田作之助青春賞：馬場 広大「みかんの木」 織田作之助U-18賞：吉田 菜々穂「サイコロバレンタイン」 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>近年、著名作家の受賞が続き、注目度が高い。審査員の顔ぶれも充実している。民間との協働により、大阪を代表する文学賞として発信にさらに力を入れてほしい。</p>
<p>舞台鑑賞会 (オーケストラ)</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Enjoy! オーケストラ～オーケストラで聴く映画音楽の世界!～」 (H30.2.9 ザ・シンフォニーホール) ・来場者数：約1,675人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>魅力的なプログラムを提供した結果、来場者の増につながっている。</p>
<p>舞台鑑賞会 (能・狂言・上方芸能)</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能狂言 「こどもと楽しむ能狂言」H30.2.4 大槻能楽堂 「初心者のための能狂言」H30.2.25 大槻能楽堂 ・上方芸能 「繁昌亭・春休み こどもらくご教室」H30.3.21・H30.3.24 繁昌亭 「繁昌亭・春休み こどもらくご教室(上級編)」H30.3.25 繁昌亭 「大人のためのはじめての寄席 繁昌亭夜席」H30.3.16 繁昌亭 ・来場者数(合計)：約1,800人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>青少年が大槻能楽堂、天満天神繁昌亭という「本場」に足を踏み入れる機会をつくる事業を大阪市が運営することは意義がある。</p>
<p>舞台鑑賞会 (演劇)</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪ドンキホーテ～スーパースター Patch ver.～」H30.3.23・3.24 大阪市中央公会堂 ・来場者数(合計)：約2,000人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>大阪の劇団が、大阪出身の作家・演出家を起用して、大阪を舞台にした新作を上演した意気は高く評価したい。ただし、観客層に偏りがあるように見受けられた。事業目的の一つである鑑賞初心者などが気軽に質の高い演劇に触れる機会を提供するためには、事業スキームの見直しなど、更なる検討が必要。</p>

②「芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成」

事業名	実績・評価
<p>青少年芸術体験事業</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文楽 実施校数：7校 ・能狂言 実施校数：6校 ・歌舞伎 実施校数：6校 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>学校へのアウトリーチは青少年に広く芸術文化に触れる機会を提供できる有意義な事業である。H30年度より、当該事業と舞台鑑賞会事業の再構築を行うのであれば、アウトリーチの効果が損なわれないよう工夫を行うこと</p>
<p>中学生が参加する コンサート</p>	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめましてオーケストラ」(H30.3.27 ザ・シンフォニーホール) ・参加中学生数：490人 ・来場者数：約1,100人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>490人もの吹奏楽部の中学生に対して、プロのオーケストラに触れる貴重な機会を提供できており、事業効果は大きい。現在の実施目的は中学生の参加と、市民への質の高い芸術の提供という2つであるが、施策の推進のためは、前者の目的を達成するたことを主眼にした事業に転換することも効果的である。</p>

<p>区と連携した芸術文化青少年育成事業</p>	<p>(事業実績など) ・「吹いて・奏でて楽しもう！音楽を通じた未来の住之江を担う人材育成事業」（住之江区）ほか7区で実施</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 地域の個性や状況をよく知る区役所が、主体的に文化事業を起すよう促すようにした計画自体を高く評価したい。また、事業を実施し、青少年が良質の文化芸術を体験することができたという当初の目的達成以外に、区の文化事業に関する意識の高揚をはじめ、さまざまな点において効果が見込める事業であろう。24区すべてで実施されることを期待する。</p>
--------------------------	---

④「貴重な文化資源の保護・保存・継承」

事業名	実績・評価
<p>文楽を中心とした古典芸能振興事業</p>	<p>(事業実績など) ・文楽公演「中之島文楽」（H29.9.29～10.1大阪市中央公会堂 来場者数：約1800人）、ミニ公演、文楽に関するWEBフリーペーパーでの情報発信など ・参加者数：約18,000人 ・来場者へのアンケート結果：「次は文楽劇場で文楽を鑑賞したい」と回答した人数約90% ・その他：国立文楽劇場との連携（各種事業実施時における劇場公演のPRなど）</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 「中之島文楽」は回を重ねるごとに充実している感がある。伝統芸能こそ新しいメディアでの発信により、若い層へ積極的に情報を届ける必要がある。そうした点において、今回の情報発信の取り組みは効果的であった。</p>
<p>舞台鑑賞会 <small>（中高生のための文楽 夏休み親子ペア文楽）</small></p>	<p>(事業実績など) ・中高生のための文楽鑑賞教室 H29.6月 国立文楽劇場 参加者数：約3,400人 ・夏休み文楽特別公演「親子劇場」 H29.7月～8月 国立文楽劇場 参加者数：約2,200人</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 文学鑑賞教室は、応募校が増加している。ひきつづき鑑賞機会の提供に努めてほしい。</p>

⑤「芸術文化活動を支える寄附文化の醸成」

事業名	実績・評価
<p>芸術・文化団体サポート事業</p>	<p>(事業実績など) ・H29年度実施分 対象団体：22団体 寄付金額：17,426千円 ・H30年度実施分 対象団体：24団体</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 寄付のアピールは各団体が行い、市は事業全体や制度面のPRに力を入れるという分担がかみ合えば効果的だろう。</p>

基本方向B「都市のための文化」

①「大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信」

事業名	実績・評価
<p>伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業</p>	<p>(事業実績など) ・モデル公演の実施（3回・来場者：536名） ・旅行事業者・有識者等で構成される関係者会議の実施（4回程度）</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 観光客向けの公演等の開発というミッションに照らしてみたときには、観光関係者が紹介できるものになっているか、また、そうした取り組み・事業を自ら行う団体があるのかをさらに検証しておく必要がある。</p>

②「芸術文化の魅力、観光資源及び経済の活性化に活用」

事業名	
アジア映画祭	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア映画祭(開催期間: H30.3.9~3.18) ・上映作品数: 53作品(18の国と地域の作品) ・開催会場: 梅田ブルグ、ABCホール、国立国際美術館 ほか ・映画に関する人材育成に寄与する講座・ワークショップ ・プレスセンターを福島区中之島リバーサイドエリアにあるPNEBROOKLYNに設置 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>客数や映画のクオリティをみると、素晴らしい映画祭だと思える。一方で、映画祭といいつつも、日本での商業公開のための見本市・商談の場にはまでは発展しない。同映画祭を観光や産業振興を目標とするのであれば、この投資をどういうスキームで民間の観光産業促進に活かすのか、というビジョンが必要である。</p>

③「都市全体を活用した芸術文化活動の展開」

事業名	
大阪クラシック	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間: H29.9.10~9.16 ・主な会場: 大阪市中央公会堂・フェスティバルホール・御堂筋や中之島地区のオフィスビルのロビー 等 ・出演楽団: 大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団 Osaka Shion Wind Orchestra ・公演数: 81公演 ・来場者数(合計): 約48,000人 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>新たな会場での公演など、まちに新たな芸術文化活動空間を広げてきたことに意味がある。この試みを継続してほしい。ただし、都市の魅力を高めるという目的を達成するためには当該事業の全国的な認知度の向上にかかる取組みも必要である。</p>
野外演劇 フェスティバル	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間: H29.4~H29.10 ・参加団体数: 4団体 ・開催場所: 3か所(南天満浜公園、大阪城公園、扇町公園)

基本方向C「社会のための文化」

①「教育、福祉、まちづくり等あらゆる施策分野への活用」

事業名	
地域等における 芸術活動促進事業	<p>(事業実績など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等の芸術活動に関する情報発信を目的としたホームページを開設「文化自由都市大阪」 ※市内での活動に関する情報(アーティスト情報など)件数: 52件 ・地域等の芸術活動の普及および開設したホームページのPRのためのフォーラム開催「大阪・芸術未来予想図」 <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など)</p> <p>フォーラムの参加者の多くはアーティストやクリエイターであり、自らの表現や制作をどのように社会と結びつけていくのかを模索している人が多かった。しかし、まだまだ認識は浅く、継続して意識と知識の成熟の機会を設けなければ、形だけの「社会のためのアート」が広がる可能性もある。今後は、すでに活動を行っているものへの支援と、活動を行いたいものへの育成の両輪が必要であろう。</p>

②「地域の特色ある芸術文化活動への取組み・支援」

事業名	
<p>文楽を特色とする 地域魅力創出事業</p>	<p>(事業実績など) ①高津子ども文楽・文楽公演 (H29.12.1 大阪市立高津小学校) ・参加者数：約300人 ②文楽まちあるきイベント ・開催日：H29.7.4～9.25 (合計5日間・5コース) ・アンケート結果 「高津地区や周辺エリアは文楽を特色としたまちとしての魅力がある」と回答する事業参加者の割合:90.4%</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 文楽劇場のある高津地域のこどもたちと技芸員がふれあいう「こども文楽」や文楽の舞台などを実際にめぐる「まちあるき」は、新たな視点で地域への愛着や文楽に対する関心をたかめるといって有意義な事業であった。</p>
<p>地域文化事業</p>	<p>(事業実績など) ・住之江区「第16回人形劇フェスタinすみのえ」ほか11区で開催</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 支援した各区の事業について、他の関連する文化事業と合わせて、事業効果の検証をすすめてほしい。</p>
<p>文学碑記念の集い 文学碑維持管理</p>	<p>(文学碑記念の集い事業実績など) ・「第38回文学碑記念の集い」(H29.7.1 太平寺) ・参加者数：140人 ・出演者：小玉 武・露の紫</p> <p>(文学碑維持管理事業実績など) ・天王寺区「織田作之助」碑ほか1件の修繕</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 「文学碑記念の集い」については、他の文化事業とリンクするようになったことは評価できる。</p>
<p>クラシック音楽 普及促進事業</p>	<p>(事業実績など) ・「にしなりクラシック～モーツァルトの午後 PART3～」 (H29.7.22 大阪フィルハーモニー会館 来場者数(合計)約340人) ・大阪フィルハーモニー会館 市民利用割合46%</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 施設の市民利用のさらなる利用率向上につなげてほしい。</p>
<p>現代芸術振興事業 (プレーカープロジェクト)</p>	<p>(事業実績など) ・通年事業 「作業場あいてます!」・「kioku手芸館 たんす」・「新・福寿荘」・「西成・子どもオーケストラ」 ・アートマネージャーの発掘育成など</p> <p>(アーツカウンシルからの評価、改善提案など) 事業を実施することで、地域が自発的・積極的に地域外からの訪問客を迎えるなど、地域の人々をエンパワーメントし、かつ地域イメージの更新にもつながっている。ただし、次の展開を考え始める時期にきているといえるだろう。</p>